

新ストレスチェックサービスのご案内

多くの事業者様がストレスチェックを「職業性ストレス簡易調査票57項目版」で実施されておりますが、ストレスチェックが浸透し、健康経営への気運の高まりなどからストレスチェックから得られる情報を充実させたいという事業者様からのニーズにお応えするために、従業員のストレス対応や組織の健康度がより詳細に把握できる87項目版のストレスチェックを取扱います。

< 個人レベルのメリット >

ストレスマネジメントに役立つ測定項目の追加

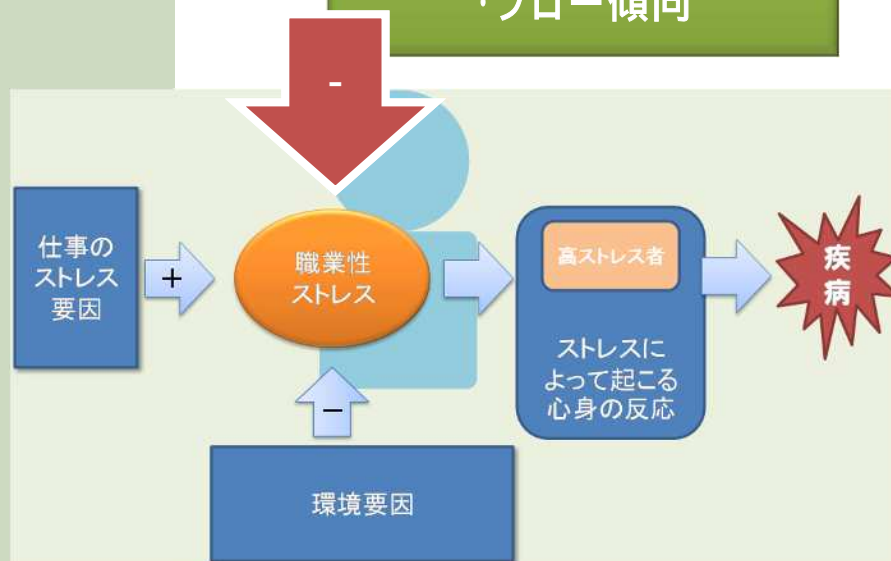
職業性ストレス簡易調査票57項目版は、仕事におけるストレス発生の原因となる「仕事のストレス要因」(仕事の量・質、対人関係・・・)とストレスを緩和する「環境要因」(上司、同僚、家族・友人の支援)の影響を受けて、個人の心身に「ストレス反応」が生じるストレス発生モデルに基づいて、2つの要因の程度と「ストレス反応」を測定しています。(下記概念図をご参照ください)

しかし「ストレス反応」は、外部からの影響を受けるだけではなく、個人ごとにストレス要因の受け止め方が異なっていたり、ストレスへの対処能力・スキルといった「個人要因」からも影響を受けています。

新ストレスチェックサービス(87項目版)は、ストレス対処に有効な個人の思考やスキル活用度の「個人要因」を測定しており、個人が現在のストレス状態を知るだけでなく、ストレスをマネジメントする能動的なストレス対処の情報を得ることができます。

ストレス対処に有効な個人要因を追加

- ・思考の柔軟性
- ・自己効力感
- ・ソーシャルスキル
- ・フロー傾向



職業性ストレス簡易調査票57項目のストレス概念図

< 組織レベルのメリット >

健康経営にも役立つ組織分析

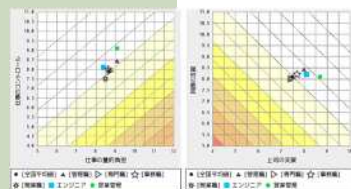
従業員の幸福感(ウェルビーイング*)と仕事の「満足度」や「成果」とは高い相関関係がみられることから、新ストレスチェック(87項目版)は、組織の総合評価としてウェルビーイング度を提示しております。

組織の健康度はストレスレベルと相関が高く、組織の活性化につながる「ワークエンゲージメント(従業員と仕事内容間の絆)」や「望ましい人間関係」等を測定します。これらの指標は組織のあり方や経営の方向性の基礎資料に活用できます。

*)ウェルビーイング(well-being): 1946年WHO憲章の草案の中で、「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態(well-being)にあること」とされており、心身・社会的に良好な状態を意味する。

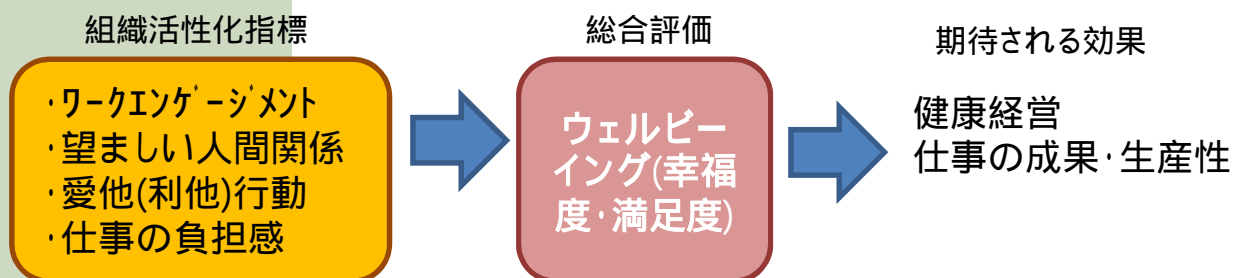
集団分析比較

職業性ストレス簡易調査票57項目版集団分析アウトプット: 仕事のストレス判定図



測定内容
組織の健康リスク

新ストレスチェック87項目版集団分析アウトプット: ウェルビーイング



新ストレスチェックサービス(Wityストレスチェック)概要

Wityストレスチェックは、ストレスチェック制度に準拠し、最新の心理学的知見を活用した評価制度の高いストレスチェックサービスです。

質問項目数	87項目(職業性ストレス簡易調査票57項目+独自質問30問、回答精度質問含む)
受検方式	WEB(インターネットクラウド、マルチデバイス対応) / マークシート式用紙
高ストレス者選定基準	厚生労働省ストレスチェックマニュアル「評価基準の例(その1)(単純合計方式)」に準拠

「Wity」はユナイテッド・ヘルスコミュニケーション株式会社の登録商標です。

株式会社 パイン総合研究所 メンタルヘルス マネジメント事業部
“サンテマンタル パイン”

The Personal Management Reserch Institute Co.,Ltd.

東京都千代田区六番町2番地8 番町Mビル

TEL:03-5214-0211、FAX:03-5214-1010、E-mail:mhm@per-in.co.jp